

Mycofix Plus 3.0



マイコフィックス
プラス 3.0

自然由来のカビ毒(マイコトキシン)対策

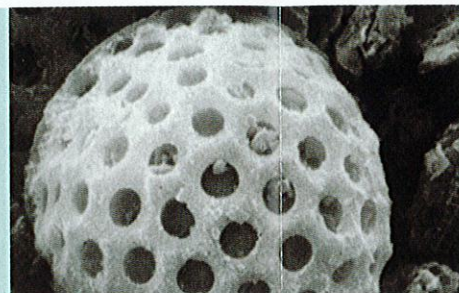
5つの成分

がカビ毒対策に役立ちます

吸着

鉱物の組み合わせによる相乗効果

Biomin®(現dsm-firmenich)により選択された鉱物(ベントナイト、ケイソウ土)により特異的にカビ毒を吸着します。dsm-firmenichの認証された品質管理システムは国際品質基準と飼料安全基準に適合しています。これにより各ロット毎に高い品質の製品を製造しています。EU内において承認取得済 承認番号 1060/2013



極性のあるカビ毒(例えばアフラトキシン)などの場合、マイコフィックス プラス3.0が吸着して固定することにより不活化をサポートします。特別に選択された鉱物の吸着の表面積と吸着する穴の径によりマイコフィックス プラス3.0は特異的かつ安定した吸着を実現しています。

酵素による無毒化

生物学的成分

サッカロマイセスセレビシエ酵母由来の酵素がフザリウム系のカビ毒(ゼアラレノン、オクラトキシン)に働きかけ、代謝物の無毒化が期待されます。

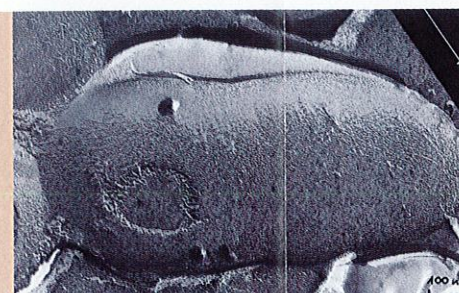


カビ毒はその種類によっては吸着しきれない場合があります。マイコフィックス プラス3.0にはゼアラレノンは無毒化する生物学的成分が含まれています。ゼアラレノンはエステラーゼによって加水分解されることによりエストロゲン作用の無い代謝物になります。

生菌による無毒化

Biomin® BBSH® 797

Biomin® (現dsm-firmenich)により開発されたコリオバクテリウム科生菌は腸管内で、カビ毒を毒性の無い分解産物に変換させる酵素系を産生することが期待されます。EU内において承認取得済 承認番号 1016/2013 and 2017/930



Biomin®(現dsm-firmenich)によって開発されたBiomin® BBSH® 797菌株はトリコテセン類カビ毒を有害性の少ない代謝物に変化させることが出来ます。BBSH 797はトリコテセンカビ毒(DON,T-2など)を無毒化する特異な酵素を持つと言われていました。これにより、マイコフィックス プラス3.0は数々のカビ毒による生産性低下の対策となります。

植物由来成分

植物由来成分

マリアアザミ抽出物に含まれるシリマリリン(フラボノリグナン)が役立ちます。



植物由来成分の働き

植物由来成分によって健康をサポートします。

海藻由来成分

海藻由来成分

海藻成分であるアスコフィラムノドサムが動物の健康維持に役立ちます。



海藻由来成分の働き

海藻由来成分によって健康をサポートします。

Mycofix® Plus 3.0

... あなたの農場に最新技術をお届けします

カビ毒の研究で世界をリードするBiomin®社*(現dsm-firmenich)はカビ毒の不活化や家畜の健康状態に役立つ特許成分を含むマイコフィックス プラス3.0を開発しました。

マイコフィックス プラス3.0はそれぞれの農場毎に対策を提案します。家畜の種類によって、カビ毒に対する感受性、許容度はことなります。この点を考慮し、Biomin®(現dsm-firmenich)は最新の

技術に基づく5種類の対策を用意しています。これらの組み合わせによって作られる製品群によってお客様の最善、最高の経済的効果を生み出すお手伝いをします。



品質 ...

総合的な品質管理システム

鉱物や生物学的成分は自然界由来の物質であるため、同じ産地や醗酵施設を使用しても品質や性能にばらつきが出ます。そのため厳格な品質管理が求められます。

マイコフィックス プラス3.0は市場において各ロット毎の品質を標準化していることを保証している唯一の製品です。

マイコフィックス プラス3.0は標準化した品質と確かな成績を担保できるよう製造されています。

*Biominはdsm-firmenichに帰属します。

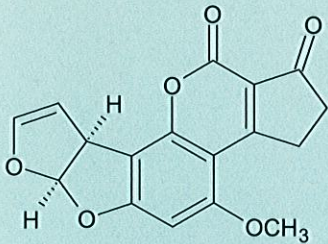
マイコトキシン(カビ毒)とは...

少量のカビ毒であっても免疫系に対して有害な影響を起し、その代謝物はさらに人や動物の健康に対するリスクとなる可能性があります。

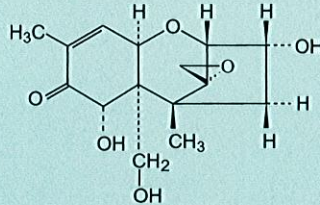
症状の出ないレベルのカビ毒は頻繁に検出され、家畜の生産性に対して潜在的な影響を及ぼします。

カビ毒による臨床症状は高濃度に汚染された飼料を摂取した場合ほど、顕著になります。

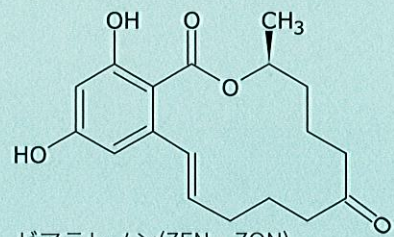
特に重要なカビ毒(マイコトキシン)



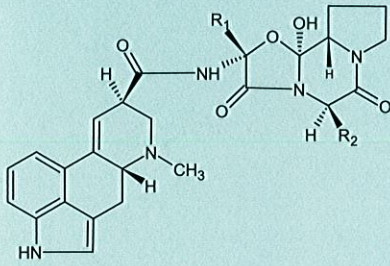
アフラトキシン B1



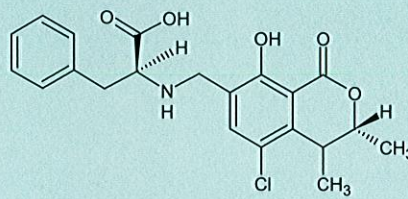
デオキシニバレノール(DON)



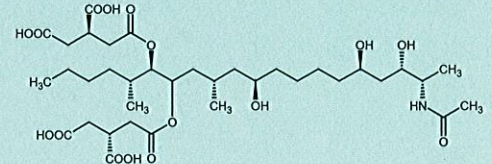
ゼアラレノン(ZEN、ZON)



T-2トキシン



オクラトキシン A



フモニシン

どの濃度のカビ毒であっても注意が必要です。動物の健康に対してカビ毒の濃度が高くなればより高い危険性をもたらすと言われてい

Prof. Hamilton

